

## 日本語の「～て死にそうだ」、「死ぬほど～」と 中国語の“～得要死”の対照研究

杉村 泰（名古屋大学）

---

### 要旨

日本語の補助形容詞「～て死にそうだ」、副詞「死ぬほど～」、中国語の補語“～得要死”はいずれも当該の事態の程度が極めて高いことを表す。しかし、先行研究ではその違いが明確に記述されていない。そこで本稿では「現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)」と「北京大学 CCL コーパス (CCL)」を利用して、これら3つの形式と共起する表現の特徴を見た。さらに類義語の「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」、「たまらなく～」、「おそろしく～」、「信じられないほど～」、「～得不得了」、「～得受不了」、「～得要命」とも比較して、これらの形式の共起語の違いを明らかにした。

---

**キーワード：** 「～て死にそうだ」、「死ぬほど～」、「～得要死」、共起、対照研究

### はじめに

本稿では日本語の「～て死にそうだ」、「死ぬほど～」と中国語の“～得要死”の意味の違いについて論じる。これらの表現はいずれも「死」という意義素を持ち、当該事態の程度が甚だしく高いことを表す。しかし、先行研究ではその違いについて論じられていない。そこで本稿では、日中のコーパスを利用してこれら3語の共起語の違いを見ることにより、これらの表現の意味の違いについて論じる。

### I. 先行研究

先行研究では、当該事態の程度が甚だしいことを表す補助形容詞として「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」について論じられてきた（飛田・浅田 1991、グループ・ジャマシイ 1998、庵・高梨・中西・山田 2001、杉村 2002, 2007, 2012, 2018、鄭・小池・船 2009）など。その結果、次のような違いが指摘されている。

「～てならない」

「気がする」、「思える」、「残念だ」など自然にある思いがこみ上げてくることを表す表現と共起して、そうした思いが自然にこみ上げてきて頭から離れないほど甚だしいことを表す。

「～てたまらない」

「寂しい」、「暑い」、「痛い」など精神的・身体的な刺激によって生じる感情・感覚表現と共起して、そうした感情や感覚の程度が耐えられないほど甚だしいことを表す。

「～てしかたがない」

「気になる」、「腹が立つ」、「喉が渇く」など自然に湧き起こる感情や感覚を表す表現と共起して、そうした感情や感覚の程度が制御できないほど甚だしいことを表す。

杉村 (2018)

しかし、同じ当該事態の程度が甚だしいことを表す補助形容詞でも「～て死にそうだ」については、議論の対象とされていない。また、同じ「死」という意義素を持ち、当該事態の程度が甚だしいことを表す副詞的表現の「死ぬほど～」についても論じられていない。そのため、本稿で新しく研究の対象として取り上げたい。

一方、同じ「死」という意義素を持ち、当該事態の程度が甚だしいことを表す中国語の補語“～得要死”については、辞書に次のような記述がある。

【要死】**劲** 表示程度达到极点：疼得～ | 怕得～ | 高兴得～ | 这菜咸得～。

『现代汉语词典（第六版）』（p. 1516）

【要死】…でたまらない、ひどく…である。極点に達することを表す。補語に用いる。

『忙得～/忙しくてたまらない。『恨得～/心の底から憎む。』

『中日辞典（第2版）』（p. 1736）

しかし、これ以上詳しい記述はなく、類義語の“～得不得了”、“～得受不了”、“～得要命”との違いも明確ではない。

そこで本稿では同じ当該事態の程度が甚だしいことを表し、「死」という意義素を持つ日本語の「～て死にそうだ」、「死ぬほど～」と中国語の“～得要死”を比較する。また、それとともに、「～て死にそうだ」の類義補助形容詞である「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」、「死ぬほど～」の類義副詞である「たまらなく～」、「おそろしく～」、「信じられないほど～」、「～得要死」の類義補語である“～得不得了”、“～得受不了”、“～得要命”との比較も行う。その際、コーパスで各形式の共起語の違いを見ることにより、各表現がどのような事態を強調するのかを明らかにする。

## II. コーパス調査

次に本稿で利用したコーパスと検索の設定について述べる。コーパスから出現した表現は目視で確認して、不要なものを手を取り除いた。例えば、例(1)の「～て死にそうだ」は「腹のふくれた程度が高い」という意味ではなく、「腹が膨れた結果、死にそうになった」という実質動詞の意味を持っている。また、例(2)の“～得要死”も「病気がひどい」という補語の意味ではなく、「病気で死にそうになった」という実質動詞の意味を持っている。このような例は目で見て集計の対象から除外した。

- (1) はたして楊は病気になる、腹が脹れて死にそうだった。(陳舜臣『聊齋志異考』)  
 (2) 他在发烧，病得要死，人们说他快要断气了。(安徒生童话故事集)  
 (本稿訳：彼は熱が出て、病気で死にそうになり、人々は彼はまもなく息を引き取るだろうと言った。)

このようにしてコーパスから該当する表現を抽出し、共起語の数を集計した。

### 1. 日本語のコーパス

日本語については、日本の国立国語研究所の「現代日本語書き言葉均衡コーパス（通常版）」(BCCWJ-NT)を使用した。検索の設定は次のとおりである。

- ・検索対象：全ジャンル（レジスター）
- ・「短単位検索」の「検索フォームで検索」を使用
- ・「て死にそうだ、てならない、てたまらない、てしかたがない」の検索<sup>1)</sup>
  - ①前方共起1（キーから1語）語形が〔テ、デ〕  
 キー（---）語形が〔シヌ、ナル、タマル、シカタ、ショウ、シヨウ〕
  - ②前方共起1（キーから2語）品詞の小分類が〔形状詞一般〕  
 キー（---）語形が〔シヌ、ナル、タマル、シカタ、ショウ、シヨウ〕
- ・「死ぬほど」の検索  
 前方共起1（キーから1語）語形が〔シヌ〕 キー（---）語形が〔ホド〕
- ・「たまらなく」の検索  
 前方共起1（キーから1語）語形が〔タマル〕 キー（---）語形が〔ナイ〕
- ・「おそろしく」の検索  
 キー（---）語形が〔オソロシイ〕 AND 活用形の大分類が〔連用形〕
- ・「信じられないほど」の検索  
 前方共起1（キーから2語）語形が〔ラレル、デキル〕  
 前方共起2（キーから1語）語形が〔ナイ〕 キー（---）語形が〔ホド〕

## 2. 中国語のコーパス

一方、中国語については、北京大学中国語学研究中心の「北京大学 CCL 語料庫」(CCL)を使用した。検索の設定は次のとおりである。

- ・ 検索対象：現代汉语
- ・ “～得要死、～得不得了、～得受不了、～得要命” の検索

検索欄に「得要死、得不得了、得受不了、得要命」を入れて検索した。

## Ⅲ. 「～て死にそうだ」の共起語

まず「～て死にそうだ」の共起語について見る。表1を見ると、「～て死にそうだ」は「暑い」、「恥ずかしい」のような感情・感情形容詞や「疲れる」、「喉が渇く」のような生理的反応を表す動詞に付くことが分かる。

表1 「～て死にそうだ」の共起語の出現数（件）（異なり語数10語）

順	前接語	出現数
1	暑い	4
2	恥ずかしい	3
3	疲れる、喉が渇く、可愛すぎる（計3語）	2
6	しんどい、気持ち悪い、眠い、寂しい、痛い（計5語）	1
合計		18

次に「～て死にそうだ」の類義補助形容詞である「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」との共起語の違いについて見る。BCCWJ から出現した共起語の出現数上位10位までを表2に示す。これを見ると、「～て死にそうだ」は他の3つの表現に比べて異なり語数も延べ語数も桁違いに少ないことが分かる。また、出現した異なり語10語を見ると、いずれも精神的・身体的な刺激によって生じる感情・感覚を表す形容詞や動詞であり、他の3つの表現の中では「～てたまらない」に近いことが分かる。「～てたまらない」はこのような感情や感覚の程度が耐えられないほど高いことを述べる表現、「～て死にそうだ」はその程度が死にそうなほど高いことを述べる表現で、「～て死にそうだ」の方が強調の程度が高いニュアンスがある。一方、「～てならない」は「気がする」など自然にある思いがこみ上げてくることを表す表現、「～てしかたがない」は「気になる」など自然に湧き起こる感情や感覚を表す表現と共起しやすい点で、「～て死にそうだ」とは共起語の傾向に違いが見られる。

表2 日本語の4つの補助形容詞の共起語の出現数の比較 (件)

順	～てならない (異なり語数 105 語)		～てたまらない (異なり語数 118 語)		～てしかたがない (異なり語数 171 語)		～て死にそうだ (異なり語数 10 語)		
1	気がする	305	～たい	141	気になる	184	暑い	4	
2	思える	208	嫌だ	63	～たい	87	恥ずかしい	3	
3	残念だ	67	嬉しい	51	楽しい	49	疲れる	2	
4	思われる	62	欲しい	50	思える	44	喉が渴く		
5	感じがする	24	不安だ	44	嬉しい	34	可愛すぎる	1	
6	感じられる	20	好きだ		気がする	33	しんどい		
7	可哀相だ	17	心配だ	40	可愛い	30	気持ち悪い		
8	嬉しい		怖い・恐い	32	～に/く見える	27	眠い		
9	悔やまれる	15	痛い	30	心配だ	26	寂しい		
10	気になる		不思議だ 残念だ	20	怖い・恐い	24	痛い		
	(以下略)		(以下略)		(以下略)		(以下略)		
	合計	982	合計	865	合計	975	合計		18

次の表3は「～て死にそうだ」の共起語となる10語が「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」、「～て死にそうだ」の4つのうちどれと共起しやすいかを比較したものである。網掛け部分は4つの形式のうち共起数が最も多いものを示している。これを見ると、「～て死にそうだ」と共起する語は、共起数では「～てたまらない」や「～てしかたがない」の方が多くなっている<sup>2)</sup>。この点で、先行研究で論じられている3つの表現には「気がしてならない」(4つのうちの集中度90.0%)、「嫌でたまらない」(同75.9%)、「気になって仕方がない」(同91.1%)のように特に共起しやすい語があるのとは対照的である。

表3 「～て死にそうだ」の共起語上位10位までと4つの補助形容詞との共起の比較 (件(%))

順	共起語	～てならない	～てたまらない	～てしかたがない	～て死にそうだ	合計
1	暑い	1 (7.7)	5 (38.5)	3 (23.1)	4 (30.8)	13 (100)
2	恥ずかしい	3 (12.0)	12 (48.0)	7 (28.0)	3 (12.0)	25 (100)
3	疲れる	0 (0)	0 (0)	4 (66.7)	2 (33.3)	6 (100)
4	喉が渴く	1 (14.3)	0 (0)	4 (57.1)	2 (28.6)	7 (100)
5	可愛すぎる	0 (0)	1 (33.3)	0 (0)	2 (66.7)	3 (100)
6	しんどい	0 (0)	2 (66.7)	0 (0)	1 (33.3)	3 (100)
7	気持ち悪い	0 (0)	0 (0)	4 (80.0)	1 (20.0)	5 (100)
8	眠い	0 (0)	12 (36.4)	20 (60.6)	1 (3.0)	33 (100)
9	寂しい	1 (3.7)	13 (48.1)	12 (44.4)	1 (3.7)	27 (100)
10	痛い	1 (2.3)	30 (68.2)	12 (27.3)	1 (2.3)	44 (100)

## IV. 「死ぬほど～」の共起語

次に「死ぬほど～」の共起語について見る。表4を見ると、「死ぬほど～」は「怖い」、「好きだ」のような感情形容詞や「驚く」、「後悔する」のような感情動詞が上位に来るが、「ある」のような存在動詞、「疲れる」のような生理的反応を表す動詞、「飲む」のような動作動詞、「いい・よい」のような評価を表す形容詞、「寒い」のような感覚形容詞、「遅い」のような属性形容詞など広く共起する。この点で「～て死にそうだ」とは異なる。

表4 「死ぬほど～」の共起語の出現数（件）（異なり語数102語）

順	前接語	出現数	順	前接語	出現数	順	前接語	出現数
1	怖い	10	9	ある	4	15	いい・よい	3
2	好きだ	9		愛する				
3	辛（つら）い	8		苦しむ				
4	驚く	7		恥ずかしい				
5	後悔する	6		疲れる				
6	怯える	5		びっくりする				
	苦しい							
	退屈だ							
22	嬉しい、気持ちいい/よい、寒い、遅い、～たい、暇だ、心配する、恋焦がれる、怖がる、喉が渇く、勉強する、飲む、引っぱたく（計13語）						2	
35	寂しい、悔しい、悲しい、心苦しい、欲しい、眠い、暑い、きつい、こそばゆい、つまらない、眩しい、難しい、深い（悩み）、遠い、汚い、ひどい、安い、悪い、厭らしい、くだらない、つかみどころがない、大好きだ、不安だ、空腹だ、苦手だ、厭だ、簡単だ、重要だ、馬鹿だ、ものぐさだ、スムーズだ、思いつめる、焦がれる、憎む、落ち込む、ドキドキする、泣ける、飽き飽きする、脅える、震えあがる、笑う、笑いこける、汗をかく、頑張る、脅す、苦しめる、作業する、仕事をする、こき使う、食う、食べる、味わう、練習する、聴く、嵌める、褒める、殴る、触る、送りつける、繰り返す、待つ、待ち焦がれる、殴られる、怒られる、愛される、（仕事）が溜まる、（ドライブ）が入らない、～たがる（計68語）						1	
合計								194

次に「死ぬほど～」の類義副詞である「たまらなく～」、「おそろしく～」、「信じられないほど～」との共起語の違いについて見る。BCCWJから出現した共起語の出現数上位10位までを表5に示す。これを見ると、先の「～て死にそうだ」とは違い、「死ぬほど～」は他の3つの表現に比べて異なり語数や延べ語数が桁違いに違うことはない。また、異なり語の上位10語を見ると、感情形容詞が多く、他の3つの表現の中では「たまらなく～」に近いことが分かる。しかし、「たまらなく～」が基本的に形容詞を修飾するのに対し、「死ぬほど～」は動詞も修飾し、「ある」のような存在動詞も修飾する点で違いがある。一方、「おそろしく～」と「信じられないほど～」は「退屈だ」、「素晴らしい」、「寒い」、「冷たい」のような感情・感覚形容詞も修飾するが、「長い」、「低い」のような属性形容詞を修飾することが多い点で、「死ぬほど～」や「たまらなく～」とは違いがある。

以上のことから、「死ぬほど～」は「～て死にそうだ」に比べて多様な動詞や形容詞に付くものの、共起語の上位には感情動詞や感情形容詞が来やすいことが分かる。

表5 日本語の4つの副詞の共起語の出現数の比較(件)

順	たまらなく～ (異なり語数 98 語)		おそろしく～ (異なり語数 247 語)		信じられないほど～ (異なり語数 87 語)		死ぬほど～ (異なり語数 102 語)	
1	好きだ	17	長い	15	低い	4	怖い	10
2	嬉しい	13	高い	9	大きい	3	好きだ	9
3	嫌だ	11	いい・よい	8	違う	2	辛(つら)い	8
4	～たい		強い	7			素晴らしい	驚く
5	いい・よい	7	早い・速い	6	単純だ	2	後悔する	6
6	可愛い		かかる	5	長い		怯える	5
7	寂しい	古い	4		薄い	苦しい		
8	おいしい	重い		4	強い	退屈だ		
9	愛おしい	退屈だ	4		不思議だ	ある	4	
10	恥ずかしい	寒い		4	豊富だ	愛する		
		危険だ	4		優しい	苦しむ	4	
		深い		4	冷たい	恥ずかしい		
		大きな	4			疲れる	4	
		短い		4		びっくりする		
	(以下略)		(以下略)			(以下略)		(以下略)
	合計	222	合計	359	合計	102	合計	194

次の表6は「死ぬほど～」の共起語のうち上位10位までの語が「たまらなく～」、「おそろしく～」、「信じられないほど～」、「死ぬほど～」の4つのうちどれと共起しやすいかを比較したものである。網掛け部分は4つの形式のうち共起数が最も多いものを示している。これを見ると、先の「～て死にそうだ」と違い、「死ぬほど～」の共起語の上位10位までの語は4つのうち「死ぬほど～」と一番共起しやすいことが分かる。表6のうち「好きだ」と「恥ずかしい」は「たまらなく～」との共起が一番多いが、「死ぬほど～」との共起もそれぞれ34.6%、40.0%で2位となっている。このことから、「死ぬほど～」の上位に来る語は4つの副詞の中で「死ぬほど～」と共起しやすいことが分かる。

表6 「死ぬほど～」の共起語上位10位までと4つの副詞との共起の比較（件(%)）

順	共起語	たまらなく～	おそろしく～	信じられないほど～	死ぬほど～	合計
1	怖い・恐い	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (100)	10 (100)
2	好きだ	17 (65.4)	0 (0)	0 (0)	9 (34.6)	26 (100)
3	辛(つら)い	2 (20.0)	0 (0)	0 (0)	8 (80.0)	10 (100)
4	驚く	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (100)	7 (100)
5	後悔する	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (100)	6 (100)
6	怯える	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (100)	5 (100)
7	苦しい	1 (12.5)	2 (25.0)	0 (0)	5 (62.5)	8 (100)
8	退屈だ	1 (9.1)	5 (45.5)	0 (0)	5 (45.5)	11 (100)
9	ある	0 (0)	0 (0)	1 (20.0)	4 (80.0)	5 (100)
10	愛する	1 (20.0)	0 (0)	0 (0)	4 (80.0)	5 (100)
	苦しむ	0 (0)	1 (20.0)	0 (0)	4 (80.0)	5 (100)
	恥ずかしい	5 (50.0)	1 (10.0)	0 (0)	4 (40.0)	10 (100)
	疲れる	0 (0)	1 (20.0)	0 (0)	4 (80.0)	5 (100)
	びっくりする	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (100)	4 (100)

## V. “～得要死”の共起語

最後に中国語の“～得要死”の共起語について見る。“～得要死”は日本語の「～て死にそうだ」と同様に、本動詞の“死”（死ぬ）の意味で使われる場合と、補語として事態の程度が甚だしいことを表す場合とがある。これは文脈を見て判断し、例(3)や例(4)のように明らかに本動詞として使われている場合は集計の対象から除外し、例(5)のようにどちらの解釈にもなる場合は、便宜上補語の“～得要死”として集計した。

- (3) 不管怎么样，我好像没觉得得要死。（荆棘鸟）

（本稿訳：どうあろうと、私は死にそうな気がしなかった。）

- (4) 直到有一天患上了重病，加上食不裹腹，病得要死。（王晓波）

（本稿訳：ある日重病に罹り、物が食べられなくなって、病気で死にそうになった。）

- (5) 在那条狭小的巷子里，她躺在床上，病得要死。（安徒生童话故事集）

（本稿訳：その狭い路地裏で、彼女はベッドに横たわり、病気がひどかった。）

（本稿訳：その狭い路地裏で、彼女はベッドに横たわり、病気で死にそうだった。）

表7を見ると、“～得要死”は“怕”（怖い、恐れる）、“吓”（驚く）、“累”（疲れる）、“恨”（恨む）、“饿”（腹が減る）などマイナスイメージの感情・感覚を表す動詞や形容詞に付きやすいことが分かる。



表7 “～得要死”の共起語の出現数(件) (異なり語数123語)

順	前接語	出現数	順	前接語	出現数	順	前接語	出現数
1	怕 吓	36	12	害怕	8	24	孤独	4
3	累	28		急			后悔	
4	恨	23		高兴			想	
5	饿	20		穷			笨	
6	气	17	17	闷	6	30	烦	3
7	忙	16		痛			烦闷	
8	病	14		冷			好	
9	羡慕	12		疼			嫉妒	
10	渴	10		爱			寂寞	
11	冻	9	22	难受	5		精明	
				笑			厌倦	
				打			热	
36	紧张、讨厌、兴奋、骂、昏、乏味、愁、乐、厌烦、小气、伤心、好奇、痒、痛苦、憋、挤(計16語)							2
52	担心、喜欢、心碎、失望、沮丧、懊恼、痛恨、可恶、孤单、快乐、快活、空寂、空闲、迷、羞、羞愧、愧、尴尬、压、压抑、热情、气派、烂、烂漫、闲、辛苦、苦、甜、膩、臭、好玩、难看、难吃、难懂、难过、漂亮、丑、肮脏、浪漫、贵、阔、沉、紧、快、慢、肥、瘦、精、颠、非、嫉妨、疲惫、噎、干、抖、蠢、逼、齟齬、大闹、糟蹋、呼、省、折腾、追求、背、弄、找、呆、狂、赞赏、绝望、缠(計72語)							1
合計								447

次に“～得要死”の類義補語である“～得不得了”、“～得受不了”、“～得要命”との共起語の違いについて見る。CCLから出現した共起語の出現数上位10位までを表8に示す。これを見ると、先の「～て死にそうだ」とは違い、“～得要死”は他の3つの表現に比べて異なり語数や延べ語数が桁違いに違うことはない。この点で「死ぬほど～」に似ている。また、異なり語の上位10語を見ると、マイナスイメージの感情・感覚を表す動詞や形容詞が多く、他の3つの表現の中では“～得受不了”や“～得要命”に近いことが分かる。しかし、両者に比べると“～得要死”は“热”(暑い・熱い)や“疼”(痛い)のような身体的感覚を表す表現との共起が少なくなっている。一方、“～得不得了”は“高兴”(嬉しい)、“喜欢”(好きだ)のような感情形容詞だけでなく、“好”(よい)のような評価を表す形容詞、“多”(多い)、“大”(大きい)のような属性形容詞、“气”(怒る)のような感情動詞などと広く共起する。これに対し、“～得要死”の上位にはマイナスイメージの感情・感覚を表す動詞や形容詞以外には来にくいことが分かる。

表8 中国語の4つの補語の共起語の出現数の比較（件）

順	～得不得了 (異なり語数 277 語)		～得受不了 (異なり語数 40 語)		～得要命 (異なり語数 236 語)		～得要死 (異なり語数 123 語)	
1	高兴	107	饿	17	怕	47	怕	36
2	好	50	冻	15	气	42	吓	
3	多	42	热	13	吓	37	累	28
4	大	33	疼	11	冷	27	恨	23
5	气	24	痛	5	急	25	饿	20
6	忙	21	冷		热		病	18
7	紧张		累	4	饿	24	气	17
8	兴奋	20	渴	3	疼	22	忙	16
9	喜欢		胀		累	21	穷	羡慕
10	羡慕 急	19	忙 价涨 痒痒	2				渴
	(以下略)		(以下略)		(以下略)		(以下略)	
	合計	897	合計	110	合計	816	合計	451

次の表9は“～得要死”の共起語のうち上位10位までの語が“～得不得了”、“～得受不了”、“～得要命”、“～得要死”の4つのうちどれと共起しやすいかを比較したものである。網掛け部分は4つの形式のうち共起数が最も多いものを示している、これを見ると、“～得要死”の上位に来る語であっても必ずしも“～得要死”との共起が一番になるわけではなく、“～得要命”や“～得不得了”が一番になるものもある。なお、これら中国語の4つの補語の違いについては、今後さらに分析していきたい。

表9 “～得要死”の共起語上位10位までと4つの補語との共起の比較（件(%)）

順	共起語	～得不得了	～得受不了	～得要命	～得要死	合計
1	怕	9 (9.8)	0 (0)	47 (51.1)	36 (39.1)	92 (100)
2	吓	10 (12.0)	0 (0)	37 (44.6)	36 (43.4)	83 (100)
3	累	6 (10.2)	4 (6.8)	21 (35.6)	28 (47.5)	59 (100)
4	恨	1 (2.8)	1 (2.8)	11 (30.6)	23 (63.9)	36 (100)
5	饿	1 (1.6)	17 (27.4)	24 (38.7)	20 (32.3)	62 (100)
6	病	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (100)	14 (100)
7	气	24 (28.6)	1 (1.2)	42 (50.0)	17 (20.2)	84 (100)
8	忙	21 (45.7)	2 (4.3)	7 (15.2)	16 (34.8)	46 (100)
9	羡慕	19 (52.8)	0 (0)	5 (13.9)	12 (33.3)	36 (100)
10	渴	1 (3.3)	3 (10.0)	16 (53.3)	10 (33.3)	30 (100)

## おわりに

以上、本稿ではコーパスを利用して「～て死にそうだ」、「死ぬほど～」と中国語の“～得要死”の共起語の違いについて論じた。それぞれの表現の特徴を以下に整理しておく。

### 「～て死にそうだ」(補助形容詞)

- ・「暑い」、「恥ずかしい」のような感覚・感情形容詞や「疲れる」、「喉が渇く」のような生理的反応を表す動詞と共起し、その程度が死にそうなほど高いことを表す。
- ・「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」と比較すると、「～て死にそうだ」の共起語は「～てたまらない」に近い。
- ・「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」に比べて延べ語数も異なり語数も桁違いに少ない。また、これら3つの表現には「気がしてならない」(4つのうちの集中度90.0%)、「嫌でたまらない」(同75.9%)、「気になって仕方がない」(同91.1%)のように特に共起しやすい語があるのが、「～て死にそうだ」にはそのような語が見られない。この点で「～て死にそうだ」と親密度の高い共起語は見られない。

### 「～て死にそうだ」の例

- (6) この日は、浜松で三十六度以上を記録したらしく本当に暑くて死にそうでした(汗)  
(Yahoo!ブログ)
- (7) 学校へ出す保護者名が『河童』だなんて、恥ずかしくて死にそうだと言いまして、  
(風間茂子『まま子実の子河童ン家』)
- (8) さすがに私も疲れて死にそうでしてね。(六塚光『タマラセ：鉄仮面はメロンパンを夢見る』)

### 「死ぬほど～」(副詞)

- ・「怖い」、「好きだ」のような感情形容詞や「驚く」、「後悔する」のような感情動詞が上位に来るが、「ある」のような存在動詞、「疲れる」のような生理的反応を表す動詞、「飲む」のような動作動詞、「いい・よい」のような評価を表す形容詞、「寒い」のような感覚形容詞、「遅い」のような属性形容詞など広く共起し、その程度が死にそうなほど高いことを表す。
- ・「たまらなく～」、「おそろしく～」、「信じられないほど～」と比較すると、「死ぬほど～」の共起語は「たまらなく～」に近い。しかし、「たまらなく～」が基本的に形容詞を修飾するのに対し、「死ぬほど～」は動詞も修飾し、「ある」のような存在動詞も修飾する点で違いがある。
- ・「死ぬほど～」の共起語の上位10位までに来る語は、「たまらなく～」、「おそろしく～」、「信じられないほど～」、「死ぬほど～」の4つの副詞の中で「死ぬほど～」との共起

が一番目または二番目に多く、「死ぬほど～」との親密度が高い。

「死ぬほど～」の例

- (9) 穴がいたるところに開いていて、その下には川が見えるので死ぬほど怖い。(雨宮 処凛『悪の枢軸を訪ねて』)
- (10) 悲鳴が聞こえてきたのだ。ドアの外にいた私たちは、死ぬほど驚いた。(バラ迷宮『二階堂黎人』)
- (11) 本当にわたくしも、イジメ以外でも、忘れたかったりやり直したかったりすることは死ぬほどあります。(Yahoo!知恵袋)

“～得要死”（副詞）

- ・“怕”（怖い、恐れる）、“吓”（驚く）、“累”（疲れる）、“恨”（恨む）、“饿”（腹が減る）などマイナスイメージの感情・感覚を表す動詞や形容詞と共起し、その程度が死にそうなほど高いことを表す。
- ・“～得不得了”、“～得受不了”、“～得要命”と比較すると、“～得要死”の共起語は“～得受不了”や“～得要命”に近い。しかし、“～得受不了”や“～得要命”に比べると、“热”（暑い・熱い）や“疼”（痛い）のような身体的感覚を表す表現との共起は少ない。
- ・“～得要死”の共起語の上位10位までに来る語は、“～得不得了”、“～得受不了”、“～得要命”、“～得要死”の4つの補語の中で必ずしも“～得要死”との共起が一番になるわけではない。

“～得要死”の例

- (12) 某人牙痛，去看牙医，怕得要死。(读者（合订本）总第47期)  
(本稿訳：ある人が歯が痛くて、歯医者に行ったけど、死ぬほど怖かった。)
- (13) 胡杏恨他恨得要死，(欧阳山『苦斗』)  
(本稿訳：胡杏は彼を死ぬほど恨んでいる。)
- (14) 只可惜它后来导致了大家都饿得要死。(王晓波) … 件事去掉，大发明和赛诗会就非常好。  
(本稿訳：ただ残念なことに、それは後にみんなが腹が減って死にそうになる結果を招いた。)

今後はコーパス調査だけでなく、アンケートによる許容度調査や選択率調査を加味することにより、さらにこれらの表現の違いを明らかにし、中日両語の強調表現の体系を明らかにしていきたい。

## 注

- 1) 「～て死にそうだ」、「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」の検索に①と②の2つのパターンがあるのは、「残念だ」のように①によって出現するものと、「心配だ」のように②によって出現するものがあるためである。
- 2) 「可愛すぎる」は「～て死にそうだ」の数が一番多いが、単純形容詞の「可愛い」で比較すると「～てならない」は4件、「～てたまらない」は15件、「～てしかたがない」は30件、「～て死にそうだ」は0件であり、「～てしかたがない」の数が一番多くなる。

## 参考文献

- 庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘 (2001)、『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク。
- グループ・ジャマシイ (1998)、『日本語文型辞典』くろしお出版。
- 商務印書館・小学館 (編) (2003)、『中日辞典』(第2版) 小学館。
- 杉村泰 (2002)、「コーパス調査による文法性判断の有効性—「～てならない」を例にして」『日本語教育』114号、60-69頁。
- 杉村泰 (2007)、「「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」の使い分け—日本語母語話者と日本語学習者の比較」『世界の日本語教育』第17号、1-15頁。
- 杉村泰 (2012)、「中国語話者による日本語の複合助辞「～てならない」の許容意識と中国語の“～得不得了”による言語転移の可能性について」『中国語話者のための日本語教育研究』第3号、18-32頁。
- 杉村泰 (2018)、「中国語話者における日本語の複合助辞「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」の前接語の選択」『中国語話者のための日本語教育研究』第9号、1-16頁。
- 鄭惠先・小池真理・船橋瑞貴 (2009)、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』に見られる「～てならない」「～てたまらない」「～てしかたない」「～てしようがない」の使い分け—日本語学習者に対する指導への応用」『北海道大学留学生センター紀要』第13号、4-20頁。
- 飛田良文・浅田秀子 (1991)、『現代形容詞用法辞典』東京堂出版。
- 中国社会科学院语言研究所词典编辑室 (編) (2012)『现代汉语词典』(第六版) 商务印书馆。

## 使用したコーパス

国立国語研究所「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)  
 北京大学中国語学研究中心「北京大学 CCL 语料庫」(CCL)

付記：本稿は平成28-32年度科学研究費基金(基盤研究(C))「中国人日本語学習者におけるポर्टフォリオ型学習データベースの構築と文法習得の研究」(研究代表者:杉村泰、課題番号16K02809)による研究成果の一部である。

**A comparative study of Japanese “- *te shinisouda*”, “*shinuhodo*”  
and Chinese “- *de yaosi*”**

SUGIMURA, Yasushi

**Abstract**

Japanese subsidiary adjective “- *te shikataganai*”, Japanese adverbial use of adjective “*shinuhodo*” and Chinese complement “- *de yaosi*” all used to express the strength of the event, but the difference among these three expressions is not clarified in preceding studies. To clarify the difference among these three expressions, a survey of Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese (BCCWJ) and Center for Chinese Linguistics PKU Corpus (CCL) was conducted, and it was examined what kinds of predicates typically co-occurs with them. Survey results showed a clear difference of the typical uses of these three expressions. Moreover, compared with synonym such as “- *te naranai*”, “- *te tamaranai*”, “- *te shikataganai*”, “*tamaranaku*”, “*osoroshiku*”, “*shinjirarenaihodo*”, “- *de budeliao*”, “- *de shoubuliao*”, “- *de yaoming*” it also showed the typical co-occurrence with predicates.

**Keywords :** “- *te shikataganai*”; “*shinuhodo*”; “- *de yaosi*”, co-occurrence, contrastive study